

山行報告書

作成 2012年9月30日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名山域	内部川中ノ谷 [鈴鹿山系]	目的	沢登り
期間	2012年9月22日	形態	日帰り沢登り
参加人数	3人		
行動記録：9/22(土) 自宅(4:20)-=加藤宅(4:55,5:05) == 岡崎工(5:15) == 伊勢湾岸 == 東名阪・四日市工(6:15) == 宮妻峡カズラ谷登山口PKG(6:50,7:35)--ジャラガ谷(7:56)--中ノ谷入渓[南中谷橋](8:08,8:27)--第1堰堤(8:32)--2段10M滝下(8:45)--650m付近二股右へ(9:50,10:00)--780m付近北中ノ谷出合本谷へ(12:30,13:05)--鎌尾根(14:55,15:32)--水沢岳[宮越岳]1029m(15:59) 水沢峠(16:36) 林道(18:30) 中ノ谷入渓点[南中谷橋](18:40) カズラ谷登山口P(19:07,19:40)==御在所SA(20:10,40)==加藤宅(22:20,30)==自宅(23:05)			



9/22(土)曇り時々晴れ、加藤宅で黄色いフィットに沢道具3人分を積んで5時5分出発、宮妻峡キャンプ場を過ぎ良く知っているカズラ谷登山口駐車場に到着寸前でシューズと右前輪パンク、まいったなあー気を取り直してタイヤ交換し沢仕度して林道を歩き出す、15分でジャラガ谷に掛かる橋を過ぎる、更に15分で南中谷橋に着き、入渓点を付け、これより中ノ谷に入渓する、すぐに第1堰堤が出て左から越えると2段10m滝がド迫力の水量で落ちる、念の為合羽を着てロープを結び、滝中段で左から右に流水を横切るが足場が良く、難なく通過出来る、そして第2堰堤は右から越える、650m付近で支谷ガレ沢の二股は右に進む、するとコルジユで釜が深々必要の有る2段8mシャワーの滝に出た、濡れを嫌って右壁のウラキをロープを使って高巻く、そして滝上に懸垂で降り、2段目滝を両手両足のツツパリで越え、3段目滝は大股開きのツツパリで越えてコルジユは抜けた、しばらく歩くと780m付近で右に北中ノ谷の20mすこし垂直の滝、左にゴロ、真ん中に中ノ谷本谷の三俣に出るここで昼食、ここは真つすの中ノ谷本谷を素直に進む事とする、すると最後に8mの空滝に近い滝の左側の細かいホールドを使い、乗り越える、あとは長ガレたレンゼを直登すると鎌尾根の中間の三叉路に飛び出た、ここで沢装備を脱いで登山者姿になり南の水沢岳方向に下山を開始、16:36水沢峠で入道岳からの2人の親子に出会う、18時にはお暗くなるし下山路があまりに荒廃して危険な為、一緒に下山する、18:30暗い林道に出た、そしてカズラ谷登山口駐車場に19時過ぎに5人無事に帰ることが出来た、そしていつものチェックを入れると夜にも関わらずヒリヒリした、スパッツとタイツの間の右足に蛭2匹、左足に1匹かいたがどうもタイツの上からでは吸血出来ないようです。